

令和5年度 犀狭高等学校・篠ノ井高等学校犀狭校「関東同窓会」総会 報告

日 時 2023年6月3日(土) 12時～14時30分
場 所 東京都千代田区麴町6-6 スコワール麴町
関東同窓会 会長 山口繁実

1. 総会

(1)山口関東同窓会長あいさつ(要旨)

・遠方よりお越しいただいたご来賓方に謝意を述べられました。

新型コロナという大きな感染症が拡大しており、今年と同窓会も開催があやぶまれたが、3月の幹事会で今年は開催しようということで4年振りの開催となりました。

本部同窓会の資料を拝見すると、現在の在籍生徒数が23名であること。令和元年から毎年在籍生徒数が減少していること。この様な状況でも学業やクラブ活動等で活躍している生徒たちに、同窓会としても引き続き支援をしてゆきたい。

また、「関東同窓会」に参加していただける方も年々減少しているが、来年も是非参加していただきたい。

来賓挨拶

(2)柴田本部同窓会長あいさつ(要旨)

・本年度より本部同窓会長を仰せつかりました。私は昭和51年度の卒業生で当時の犀狭高校には全校生徒が500名程いました。今では三学年合わせても23名です。

いま、私の育った長野市信更町の「信更中学校」が生徒数の減少で2023年3月末日に閉校となりました。「信更小学校」も2024年3月末には閉校となります。これで信更町では、地域にあるすべての学校が閉校となります。

現在、私は7年前から信更町でワインブドウを生産しています。若い人が少なくなる中、次の世代が何とか地域で希望が持てるよう事業を継続し、後に継ぐ人材を育ててゆきたいと頑張っています。

(3)宇都宮副校長あいさつ(要旨)

・4年ぶりの「関東同窓会」開催おめでとうございます。

私からは、5月に開催された本部同窓会総会の資料に基づき、学校の近況報告をさせていただきます。今年入学した一年生は8名で、二年生5名、3年生10名の計23名となっています。

信州新町では、この4月から小学校と中学校が同一の建物で運営されることとなりました。信州新町だけではなく長野県全体で少子化が進んでいる状況です。

また、長野県では、第3次の高校統廃合について方針が決定されました。

長野県教育委員会の高校「再編・整備計画【三次案】が令和5年1月の定例会議で確定し、これにより地域キャンパス校が、「在籍生徒数が60人以下の状態が2年連続した場合には、募集停止を検討する」という基準が令和5年度より適用されます。

現在の在籍生徒数が23名の本校は令和5年度より、この基準の該当校となります。

将来増加する場合は慎重に検討するとなっていますが、来年度50名程の入学生が無ければこの基準が適用される結果となってしまう、来年の5月1日に募集停止について検討されることとなります。

信州新町を元気にする取り組みを、在校生がアイデアを出して考えており、このことがマスコミにも取り上げられました。

これからも地域の皆さんや学校、同窓会の皆さんと共に考えて何とか存続してゆけるよう努力してゆきたい。

議事

(1)事業報告について

(2)会計報告について

(3)会計監査報告について

それぞれ担当者から資料に基づき報告があり、会員の多数より賛同があり承認されました。

2. 懇親会

33年度卒業の深谷様より「乾杯のご発声」が行われ、新型コロナの影響で開催を中断してきたこの間の、積もる話にお互い耳を傾け、楽しいひと時を過ごしました。

途中で、「信濃の国、故郷」をみんなで合唱し、最後に40年度卒業の中村様の「締め」で懇親会が終了しました。

広報担当 宮崎利久

令和5年6月3日（土）関東同窓会総会・懇親会の様子（写真）



山口繁実 関東同窓会長のあいさつ



柴田優伸 本部同窓会長のあいさつ



宇都宮仁 副校長のあいさつ



懇親会の様子